

ひまわり



第20回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 向井 喜八 様

- 2 文化祭開催
- 3 連載vol.63 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 4 ▶ 5 連載vol.26 ● [郷土の歴史] 田原福祉グローバル専門学校②
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース
- 11 家族会だより
- 12 連載
 - 外国人介護士 紹介インタビュー
 - 施設長・管理者のリレーコラム
 - 福寿園オリジナル四コマまんが「新人介護士 フクちゃん」

172号

令和5年11月10日

各施設で秋の文化祭が行われました。

養護盲福寿園・田原福寿園

第30回 福寿園文化祭



さわやかな秋空の広がる10月1日、第30回福寿園文化祭が開催されました。式典に於いて福寿園をはぐくむ会主催の「福祉の心」絵手紙の優秀作品が表彰され、13名の小学生に、田原市長様をはじめご来賓の皆様から各賞が贈呈されました。

式典後は、福祉体験スタンプラリーとして、視覚障害者の気持ちを考えるアイマスク体験や、認知症の当事者の気持ちを知るVR体験・リフト乗車体験など、地元の子どもたちを楽しみながら人を思いやる福祉の心を育む貴重な機会となりました。

また各種飲食バザーも賑わい、芝生広場では野外コンサートとして、成章高校吹奏楽や渥美願成観音太鼓、たっぶく留学生によるバリダンスに引き続き、麻丘めぐみさんの歌謡ショーが開催されました。やさしい歌声が響きわたるなか、観客からの拍手と歓声で大変盛り上がりました。

新たな試みで臨んだ4年振りとなる文化祭は、参加いただいた皆様の心に残る楽しい秋の一日になったと思います。



ひまわりの街

ひまわりフェスタ2023



10月22日ひまわりフェスタ2023が開催されました。福祉の心絵手紙の表彰式では、総勢2,433名の応募の中から10名の受賞された小学生とご家族が参加されました。愛知県議会議長賞をはじめ、多くの表彰があり、「福祉の心」をはじめぐくむきっかけとなる素晴らしい表彰式となりました。

特別ショーでは、仁支川峰子さんのデビュー曲「あなたにあげる」をはじめ、多くの歌と自らの実体験を話してくださり、ご来賓の皆さんの目が釘付けとなりました。

来場者約480名の会場をゆっくりと回られ、多くの方と握手をしたりふれ合うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

コロナの影響で4年ぶりの大きなイベントでしたが、多くの地域の方が来場くださり、たくさん笑顔を見ることができたイベントとなりました。



連載 63

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



結婚式の様子

私は昭和17年6月6日に田原市（旧渥美町）中山町で産まれました。4人兄弟で、姉が一人、弟が二人います。父が働けなかったため、私が15歳になってからは、家業の農家を手伝いながら必死に働きました。20歳くらいになる頃には材木屋の事務員などをしていました。



建て替えたお店

結婚しました。子供も男の子と女の子両方に恵まれて、とても幸せでした。昭和47年に、家族でお寿司屋さんを始めることになりました。大変で慣れないこともありましたが、一生懸命自分なりに努力をしながら、必死に覚えていきました。その中で仕事を任せてもらえることも増えていき、とても嬉しく思いました。



お店に立つようす

寿司ネタは豊橋の市場で仕入れていました。魚介類の仕入れは旦那さんの仕事で朝早くから出かけ、仕込みは私も一緒に毎日行っていました。食材は主に生ものが多いので、早くから準備はできません。いつも開店の1時間前に仕込みをしていました。仕込みで一番大変だったことは、かんばんよう、玉子焼き、おいなりの味付けです。食材によって調味料の分量が違うので、毎回同じ味になるように味付けを覚えるまでには時間もかかりました。ご飯を炊くこと



太田 勝子さん
(渥美福寿園)

プロフィール

生年月日：昭和17年6月6日
好きな言葉：幸せ
好きなこと：野球観戦、本や雑誌を読むこと

も難しく、日によってお客さんの人数も違うので、いつも同じ量ではありませぬ。ご飯がなくなったら追加で炊いていました。たくさん量を同じように上手く炊くには、年月がかかったことを思い出します。寿司を握ることや主な接客は、旦那さんが担当していました。私は巻き寿司やちらし寿司を作りながら、店の奥で仕事をしていました。

常連さんや地域の皆様に支えられながら、昭和61年にはお店を新しく建て替えることができました。本当に感謝の言葉しかありません。今は息子が継いでくれていきます。苦しいこともたくさんありましたが、子供が産まれた時を思い出すと、どんなことでも頑張れました。もちろん楽しい思い出もたくさんあります。福寿園に入居してからは、仲の良い方もできてゆつくりと生活できているので苦労はないです。できたらまたお寿司を作ってみたいと思っています。

田原市田原町中小路 周辺

田原の偉人「渡辺崋山」

わたなべ かしん

その二 崋山の生涯

ひまわり171号(前号)で、田原が誇る偉人「渡辺崋山」の生涯についてふれました。今回はその第2弾として、崋山が遺した様々な業績や作品ををご紹介します。

崋山の教え

渡辺崋山は大家族で父は病気がち、しかも田原藩は財政難だったため、貧しい暮らしを強いられました。このため崋山は学問で身を立てるべく、立派な志を立てて勉学に励み、物事にも真摯に臨みました。そのような姿勢が後に日々の生活や商いの心構えとして残され、多くの人々を導く教えとなりました。「ハ勿の訓戒」、「商人ハ訓」の2つの教えは、現在の私たちも学ぶことの多い内容です。ここではスペースの関係で「ハ勿の訓戒」のみ掲載します。

藩政に尽力

崋山は田原藩士として常に民を第一に考え、民の暮らしを助けるための活動に尽力しました。その代表的な一つが報民倉の建設です。

重要美術品 牡丹図(部分)
天保十一(一八四〇)年 田原市博物館蔵

ハ勿の訓戒

- 一、面語の情に常を忘る勿れ
人と面談している時、調子にのつて平常の心を忘れるな
- 一、眼前の繰廻しに百年の計を忘る勿れ
目先にとらわれて、永年先の計画を忘れるな
- 一、前面の功を期して後面の費を忘る勿れ
目先、さし当たりの成功を考えて後日に多くの出費が出ることを忘れるな
- 一、大功は緩にあり機会は急にありといふ事を忘る勿れ
大きな功績(成功)はゆっくり積み重ねて出来るのであるが、チャンスは素早くとらえることを忘れるな
- 一、面は冷なるを欲し背は暖を欲すと云を忘る勿れ
表面は冷静で顔に出してはならない。内心は温情であることを忘れるな
- 一、拳動を慎み其恒を見らる勿れ
態度行動を慎重にして、心の中を見すかされるな
- 一、人を欺んとする者は人に欺むかる不欺は即不欺レ己といふ事を忘る勿れ
人をだまそうとする者は人にだまされる。人をだまさないのは自分自身をだまさないといふことを忘れるな
- 一、基立て物従ふ基は心の実といふ事を忘る勿れ
基本がしっかりしていると物が従ってくる。基というのは心の真実(真心)であるといふことを忘れるな

華山の心を受け継ぐ「華山劇」

田原中部小学校では、昭和2年から約100年間にわたり、華山の心を受け継ぐ「華山劇」が学会会で上演されてきました。合唱隊が『身を切る寒さ その上に…』と歌う中、子ども時代の華山が志を立てて進むとする情景を描いています。現在も継承されている華山の遺産の一つとも言うべき、素晴らしい歌唱劇です。

■立志(右上の写真)

大名行列を横切って叱責され、ほぼ同年のお籠の若君との身分の差を痛感する華山。学問で名を上げて殿様と対等な立場で話せるようになるかと志します。

■板橋の別れ

奉公に出る弟を華山が板橋まで見送るところを描いた場面。学問で身を立て、いずれは弟や妹を呼び戻そうと誓います。



板橋の別れ

■花と茨

華山会館・華山神社竣工2年後の昭和44年に、伊沢八郎氏の歌「花と茨」が発表されました。この歌に合わせた舞踊を、平成5年から学会会で上演しています。



花と茨

- 取材協力：田原市博物館 学芸員 増山禎之さん
公益財団法人 華山会 事務局長 大根義久さん
- 写真・資料提供：田原市教育委員会(田原市博物館)
公益財団法人 華山会
- 参考資料：田原の文化財ガイド「渡辺華山」(編集・発行：田原市博物館)、偉人物語「渡辺華山」(著作・発行：華山会)、華山神社リーフレット、田原市博物館Webサイト、華山会Webサイト、田原市Webサイト、渥美半島観光ビューローWebサイト
- 取材執筆：手嶋慶子



田原中部小学校で毎年おこなわれる華山劇の「立志」の場面

西洋事情研究と画家としての華山

太平洋に面した田原藩は、海から攻め込まれやすい地形です。外国船の襲来に備えるため、海防をきっかけに外国事情の研究を開始した華山は、鎖国中の日本の軍事力が世界の水準より遅れていることに危機感を覚えます。そして蘭学を学んで西洋事情に精通する第一人者となり、日本の将来を案じる仲間たちが華山のもとに集まりました。

しかし蘭学が広まるのを良しとし

ない幕府は、華山や高野長英らを捕え、天保十一(一八四〇)年、華山は田原で蟄居の身となつてしまいました。

金子金陵、谷文晁から絵を学んだ

華山は画家としても知られています。特に国宝の鷹見泉石像に代表されるように肖像画が得意で、友人の曲亭馬琴は「華山に描いてほしいという人が多かった」と日記に書いています。



千山万水図(せんざんばんすいず)
重要文化財 1841(天保12)年 渡辺華山筆
田原市博物館所蔵
蟄居中の作品。鎖国を続ける日本の沿岸に外国船が迫って日本の危機を描いたものと言われている。



鷹見泉石像(たかみせんせきぞう)(部分)

国宝 1837(天保8)年 渡辺華山筆
東京国立博物館所蔵

Image: TNM Image Archives

華山の肖像画の最高傑作。西洋と東洋の絵画手法を取り入れ、人物の性格まで描かれていると高く評価されています。



田原ゆの里 花火鑑賞ビアガーデン

田原祭りの日、4年ぶりに花火鑑賞ビアガーデンを開催しました。毎年この時期の天候が心配されていますが、今年は無事にあがり、屋上から花火を楽しむことができました。飲食バザーでは、あい福の里の大きな椎首を目の前で焼き、ベトナム人職員企画の生春巻きなどが大好評でした。ご家族の皆さん、ご参加ありがとうございました。最後の突然の雨には驚きながらも田原祭りを感じる事ができました。来年は最後まで屋上で皆さんと花火が観られることを楽しみにしています。

ケアハウスパシフィック 秋冬の装いを新たに♪

朝夕凌ぎやすくなってきた秋冷の折、衣料やファッション小物、お菓子等を扱う業者さんが、出張販売会を行ってくれました。季節の衣類は豊富なアイテムが取り揃えられ、今年の秋冬のコーディネートを考えながら、ショッピングを楽しまれました。特に女性の入居者の皆さんは、その場で見て触



って、お気に入りの商品を選ぶことができ、ご満悦の表情で溢れていました。

田原福祉グローバル専門学校 第3回たつぷく祭

10月7日、たつぷく祭を開催しました。今年は4年ぶりに一般の方も招待し、模擬店なども復活しました。模擬店では日本語学科生徒の各国の郷土料理なども提供し、好評でした。学内では手浴、福祉レク、茶道などもあり、年齢問わず楽しんでくれた様子が見られました。これからも地域に根付いた学校であるよう努力していきます。



養護言福寿園 仲良しの秘訣は…♡

涼しくなり過ぎしやすい季節となった今日この頃、ご夫婦で入所しているお二人がめでたく結婚55周年を迎えられ、エメラルド婚のお祝いをしました。仲良く過ごす秘訣は「特にない」と答える旦那様に対して、奥様は「近づきすぎないこと」だそうです。お二人ならではの距離



感で、居心地の良い空間を作っていたことが伺えました。福寿園に入所しようかどうか迷っていた旦那様でしたが、「入所していなかったら二人でこの日を迎えられなかった。」と感謝の気持ちをお話してくださいました。次の節目は結婚60周年のダイヤモンド婚であると伝えると、少し照れて笑っていたお二人の笑顔がとても印象的でした。またみんなでお祝いができる日を楽しみにしています。



デイサービスきぬうら
秋を感じて

少しずつ秋の気配が感じられる今日この頃、彼岸花を色画用紙にて作りました。最初から最後まで一人でこだわりを込めた作品を作られる方もいましたが、画用紙を切る人、はさみで細かく切る人、広げて曲げる人など、担当を振り分けて、一人ひとりの得意分野を活かして協力して作っている方もいました。そしてでき上がった彼岸花は、花瓶に生けたり壁に飾ったり、赤色を中心にピンクや黄色といった鮮やかな色合いで、デイフロアを秋の雰囲気包んでくれています。



武豊福寿園ショートステイ
お月見団子を作って食べよう!!

9月30日に、毎月恒例のおやつ行事としてお月見団子を食べるにはベストタイミングでした。職員が作っている間には、利用者の皆さんに秋やお月見に関するエピソードトークをしていただき、クイズにも参加して楽しまれました。また、お団子作りも順番にやっていたいただきました。十五夜にちなんで一人5個の白玉をフルーツあんみつとして提供し、美味しそうに召上がっていました。

子作りを行いました。前日が十五夜だったこともあり、お団子



花の里
夏野菜カレー

と笑顔が見られました。皆さん、普段よりたくさん召上げられ、好評でした。

9月11日、のぎくユニットにて、昼食に夏野菜カレーを企画しました。夏野菜は、南瓜、オクラ、茄子、ピーマンを使用しました。入居者の方には、ホットプレートで野菜を炒めたり、付け合わせのサラダを作るお手伝いをしていただきました。丁寧に焼いてくださった野菜を職員が作ったカレーに盛り付けると「美味しそうだね」「良いにおいがする」と笑顔が見られました。

田原市委託事業として、「閉じこもり予防教室」を毎月地区ごとに開催しています。題名の通り楽しめる教室になるよう、創作活動や体操等、月ごと内容を変えて活動しています。体操では、理学療法



士によるゲーム感覚の歩行訓練を実施。転倒に注意しながら真剣に取り組まれています。また創作活動では、できあがった作品を「孫に見せようかな」、「嫁にも話そう」等、ご家族にも教室の様子をお伝えいただけようです。介護予防をして健康寿命を延ばしましょう!

田原福寿園高齢者支援センター
楽しみながら介護予防!

田原市委託事業として、「閉じこもり予防教室」を毎月地区ごとに開催しています。題名の通り楽しめる教室になるよう、創作活動や体操等、月ごと内容を変えて活動しています。体操では、理学療法

「面会の時に、三味線を母に聴かせてあげたいと思うけど... いいですか?」と面会希望の電話が入りました。三味線は5、6年前に始められたとのことですが、演奏が始まると、情緒があり、とても迫力がありました。一曲終わるごとに拍手され、また次の曲がはじまると、息子さんの演奏に聴き入っていました。息子さんは竹笛も吹かれ、「この曲分かる?」と尋ねると「さくら!」「当たり前!」と仲睦ま

じい会話をされながら、面会の時間を過ごされました。

ひまわり邸
三味線を聴かせてあげたい



みなみ福寿園

みなみの暮らしに近くて便利!

「みなみ福寿園に「コンビニを」そんな職員の想いがカタチになった毎週金曜日。地元のセブンイレブンさんに来てもらうことができ、ロビーがあので、コンビニ一色に様変わりします。並ぶ商品はお菓子がカップ麺、スイーツに日用雑貨：コンビニそのままのご利用者や職員の要



望に快く応じてくれます。ご利用者、職員に楽しみを届けたいと熱意あるオーナー

さんはじめ、スタッフの皆さんのおかげで、毎回新しい商品を持ってきてくれるのでわくわく待ち遠しいです。ご利用者のちょっとした欲しい、今欲しいが叶った、みなみの暮らしに近くて便利なセブンイレブン。これからもご利用者が「いい気分」でいられますように。

渥美福寿園デイサービス ハロウィンバイキング

トリックオアトリート! 10月19日にハロウィンにちなんだおやつバイキングを行いました。職員も仮装していつもとは違う雰囲気を作り、場を盛り上げていました。利用者さんも仮装を見て驚きながらも楽しまれていま



した。バイキングも、ケーキやフライドポテトなど甘いものからしょっぱいものまで、いろいろな種類がよりどりみどり。何を選んで食べようかなと悩みつつ、皆さんお腹いっぱいで大満足な様子でした。

ちた福寿園デイサービス

秋の運動会

秋の空気に包まれた10月10日に運動会を行いました。デイサービ



スでの運動会は初めてで、事前の告知やプログラムの提示、紅白の玉作りや万国旗の制作活動など、利用者さんと一緒に作り上げていきました。開会宣言の後は選手宣誓を行い、元気にスタート。玉送りや玉入れ、応援合戦では「フレーフレー!」と大きな声を出し、パン食い競争で勝ち取ったあんぱんは、おやつで美味しくいただきました。動いて笑って声を出し、利用者さんも職員も笑顔が一杯の一日でした。結果は白組が優勝し、手作りした金メダルを首にかけ、満面の笑顔でした。

昭和の里

お洒落な親睦会BBQ



昨年は中止になってしまった親睦会バーベキューですが、今年は絶好の秋晴れの天気の中、4年ぶりに開催することができました。

バリ島をイメージしたおしゃれなキャンプ場で、大人たちはせつせとバーベキューに勤しむ中、子ども達は自然の中で大はしゃぎ。昼食にはおいしいお肉はもちろんのこと、特製のキャンプ風カレーも振舞われ、大人は辛口、子どもは甘口とそれぞれ大好評でした。普段交流の少ない在宅職員や就労の利用者、パート職員やそのご家族と大勢の方が参加し、アウトドアを満喫しながら昭和の里の親交をより深めることができました。

豊田福寿園

「い〜やあはあ!!」

今年も「高町棒の手保存会」の皆さんが来園!「棒の手」とは、その由来は500年前と言われている神社、仏閣に奉納する演技で、愛知県無形民俗文化財に



指定されています。「今年も来るのね。」と毎年この機会を楽しみにされている方も多く、「外は寒いかな?」とあたたかくして外

でお迎えしました。が、子供たちの元気な「い〜やあはあ!」の大きな掛け声と格好良く決まる型に「カッコいいね!」と肌寒さも忘れるほど力が入りました。ほら貝の音にもこれまた大きな拍手。秋を感じる素敵な時間となりました。

ひまわりの街

絵本でツナグツナガル

竜神地区にお住いの武田様から、「本を寄付したいから、取りに来て」と連絡をいただき伺ったところ、200冊を超える絵本を用意してくれ



ていました。武田様は96歳。「自分たちが若い頃は、戦争で生活するのが精一杯だったから、本を読む習慣もなかった」そのため、誰でも読んでデザインも素晴らしい立派な絵本

が好きて、購入し読み続けたそうです。寄付していただいた絵本は、託児所の子供たちにも大人気です。これから

も楽しく読み続け、大切にに使わせていただきます。

木田の里

秋の期間限定メニュー

本格製麺つる福では、10月から秋の期間限定メニュー「秋のつる福天丼」と「秋のつる福天丼セット」を提供しています。「秋のつる福天丼」には、エビ、大葉、ごぼう、キノコのかき揚げなど季節を



感じる事ができるアツアツの天ぷらが並んでいます。また、お腹がペコペコな方には、「秋のつる福天丼セット」がおすすめてです。天丼に自慢のうどんや小鉢が付いてくるので、お腹も満腹で食欲の秋にはピッタリです。気になる方は、是非、「本格製麺つる福」までお越しください。ご来店お待ちしております。

東海福寿園養護

秋の遠足

9月29日、秋の遠足として入所者9名、職員3名、実習生3名で碧南水族館へ行きました。コロ



ナ禍の影響もあり4年ぶりの開催です。先に日本料理小伴天というお店で昼ご飯を食べました。お刺身や大きなエビフライなど久しぶりの外食に皆さん「おいしいね」「デザートもあるの」と笑顔で召し上がられています。水族館では「大きい魚だね、すごいね」と皆さん興味深々に水槽を眺めていました。帰りにはお土産屋さんにも立ち寄り、大満足な一日となりました。

デイサービスセンター砂川

百歳のお誕生日会

敬老祝賀会の余韻に浸りながらも、もう一つの大切なイベントとして、百歳を迎えられた細江ふみ子さんの誕生日会を行いました。敬老祝賀会とはまた一味違う飾りに模様替えし、いざ本番となりました。ご本人にはサプライズでしたが「恥ずかしい」と言いながらも涙を流しながら挨拶をしてくださったふみ子さん。そして温かく見守るご利用者・職員の姿に、デイサービスセンター砂川の



よさを再確認する一日となりました。ふみ子さん、改めて百歳のお誕生日おめでとございます。

令和5年度10月期日本語学科入学式

田原福祉グローバル専門学校

10月2日、田原福祉グローバル専門学校において、日本語学科10月期の入学式が行われました。

今年は6か月コースにミャンマーから6名、ベトナムから2名、1年6か月コースにフィリピンから4名、インドネシアから14名の総勢26名が無事に入学を迎えることができました。

式典では、石川校長や理事長より「さらに国際色豊かになり、それぞれの国の文化を認め合いながら、お互いに交流をし、広い視野を持つ目、心を養ってほしい」と歓迎を受け、真剣な眼差しで聞き入っていました。

誓いの言葉では、ミャンマーのケージンさんが「新しい生活に不安はあるが、希望に満ち溢れており、色々なことに挑戦したい、立派な介護福祉士になれるよう努力していきます」と力強く誓いを立ててくれました。在校生のオカさん(インドネシア)からは「大変



なことも多いが周りのサポートによって段々と慣れてきたので、皆さんも何かあったら相談してください」と話してくれ、新入生も安心したような表情を浮かべていました。

これから色々あるかと思いますが、それぞれがその無限の可能性、無限の才能をより多く磨くことができるよう教職員一同全力でサポートしていきます。

第20回福祉の絵手紙 受賞作品決定

第20回福祉の絵手紙作品募集では、700点もの心あたたまる作品をご応募いただき、ありがとうございました。多数の応募作品の中から厳選なる審査の結果、最優秀賞、理事長賞など、12点の作品が選ばれました。受賞作品は以下のとおりです。その他入選作品は、福寿園ホームページにてご覧いただけます。

また、今号より受賞作品を表紙に

飾らせていただきます。今回は最優秀賞の向井喜八様の作品です。



《優秀賞》河辺 一子 様



《最優秀賞》向井喜八様



《理事長賞》橋本 真由子 様



《優秀賞》真田 登茂子 様



《優秀賞》細川 美恵 様



《優秀賞》小島 高世 様

令和5年度新入職員第二次研修会

9月5日と18日に分け、新入職員第二次研修会が行われ、計90名が参加しました。この研修は4月に採用された新入職員のフォローアップを目的とした研修として、法人内合同で開催されております。今年は久しぶりにオンラインではなく、一堂に会し、ひまわりの街を会場に行われました。

冒頭は理事長より「福祉をとりまく環境と中長期経営計画」をテーマに、社会情勢や法人の目指す方向性等について、講義を受けました。その後、中立常務によるサービスとコミュニケーションを始め、人事考課制度、緊急時の対応、認知症ケア、リスクマネジメント等、多様なテーマに、すべて法人内幹部職員の講義による充実した内容の研修となりました。



栄養士業務研修

9月1日に栄養士業務研修を行い、19名が参加しました。受講者の経験年数は1年～24年とまちまちですが、『業務分担とスケジュール管理』、『福寿園の献立の基本』、『栄養ケア・マネジメント』について、先輩栄養士から講義を受けた後、グループに分かれ、献立作成や栄養ケアの演習、調理員との業務分担についての話し合い等を行いました。



半日の研修でしたので十分な時間をかけることが叶わず、受講者からは今後も定期的に開催してほしいという要望がありました。多忙を極める栄養士が調理員にも業務分担をしながら、効率的に業務を遂行できるよう支援していきたいと思っております。

第13回オールジャパンケアコンテスト参加

10月15日、東京で開催された第13回オールジャパンケアコンテストに、福寿園代表として3名の職員が参加しました。各部門に分かれ、一人ずつ7分間の演技。日頃の力を精一杯出し切り、みごと外国人部門で、メリジェーンさん(くすのきの里)が奨励賞を獲得しました。介護の仕事は、正しい答えも、競うことも、点数をつけられることもありません。たくさんの選手の演技を見て得るものが多くあり、今回このような大会に参加でき、「介護って素敵だな!」と改めて感じられた2日間となりました。



家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

養護盲・田原福寿園 草取りボランティア・親睦会

翌週に控えた文化祭の前に、施設内の草取りボランティアを行っていただきました。第30回となる今回の文化祭は屋外ステージを設けて芝生広場がメイン会場となるため、その周辺の伸びきった草取り作業に、ご家族、職員合わせて33名で汗を流しました。

その後は本館ラウンジに会場を移し、おいしいお弁当を囲み、ご家族の皆さんの親睦を深め楽しく交流することができました。ご参加いただき、ありがとうございました。

田原ゆの里 清掃作業&BBQ懇親会

10月22日、総勢16家族24名のご家族に参加していただき、清掃活動



を行いました。園内の清掃を手分けして行い、普段なかなかできない範囲も、あっという間

にきれいになりました。作業終了後は、パーベキュー懇親会を行いました。ご家族同士の会話も弾まれ、楽しいひと時を過ごすことができました。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。

花の里 草取り奉仕活動



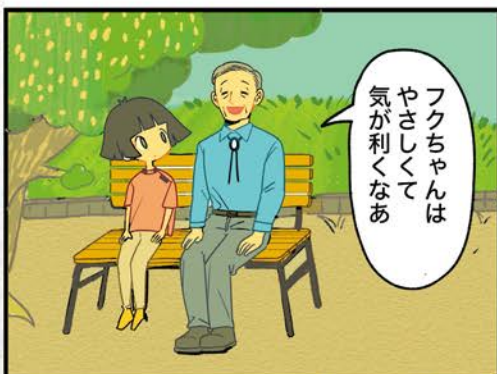
10月14日、施設内の草取り奉仕活動に、19名のご家族が参加してくださいました。小雨が降る中、施設裏の土手の草取りをしていただきました。草取りを始めて30分も立たない内に、雨が本降りになってきたため、途中で切り上げましたが、少しの間でもポリ袋8袋ほどの草を取る事ができました。参加されたご家族の皆様、ありがとうございました。草取り後には、花の里レストランにて、コーヒーを飲みながら、休憩を取っていただきました。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.8

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在99名(フィリピン人64名、ベトナム人32名、インドネシア人3名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
A 日本とフィリピンの歴史に興味があったので、フィリピンの日本語学校で勉強したら、卒業後は日本で働きたいと思いました。
- Q 日本に来て一番おどろいたことは何ですか?
A 日本人がスイカに塩をかけて食べていることです。
- Q 休日は何をしていますか?
A 家族とビデオ通話とか部屋の掃除をしています。
- Q フィリピンへ旅行に行くならどこがおすすめですか?
A ダバオにあるサマル島です。訪れる価値があります。
- Q 得意な料理を教えてください。
A 辛い料理はよく作ります。
- Q 将来の夢は何ですか?
A 家族と一緒に暮らすことです。
- Q 最後に一言
A 将来のためにこれからもっと頑張ります。



ヤスタ・アモール
ニックネーム
アモール
武豊福寿園
国籍:フィリピン

連載 施設長・管理者の リレーコラム

養護老人ホーム
福寿園

施設長 金子 高也

今年の4月に息子夫婦に、6月には娘夫婦に赤ちゃんが生まれました。二人とも可愛い女の子です。それぞれ実家を離れて暮らしているので、毎日孫を抱いてニコニコいじじになることはできませんが、世の中本当に便利になったものです。双方から画像等が送られて来るので、元気に泣いている様子を見ることができます。色々な表情、しぐさの全てが愛しいものです。時々遊びに来てくれるたびに大きくなってたり、表情が豊かになっていたりして成長していることが実感できます。子育ての第一線にいないという立場から、妻とひたすら目尻を下げているようです。初孫フィーバーでドタバタしながらあっという間に半年が過ぎてしまいましたが、新米祖父母として楽しみながら孫の成長の応援をしていきたいと思っています。

次号は、ケアハウスきぬうら
近藤施設長へバトンを渡します。



令和5年11月10日発行

発行/社会福祉法人 福寿園
理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.172 12